

## 石川県原子力環境安全管理協議会 議事概要

1. 日 時：令和元年 7 月 1 日（月）13 時 30 分～14 時 35 分
2. 場 所：石川県庁 議会庁舎 1 階 大会議室
3. 出席者：委員 20 名、説明者、事務局他
4. 議事概要：

（1）「志賀原子力発電所の運転状況等」について、北陸電力から説明があった。

（委員） これまでに断層調査や安全対策にかかった費用はどのくらいか。

（電力） 断層調査は概算で 90 億円程度、安全対策には 1 千億円台後半かかっている。

（委員） これで調査は完結する見込みなのか。再稼働が認められなかった場合、2 千億円近くの経費は、誰が責任を持つのか。もし、事業者が責任を持つとなると、結果的に電力消費者にかぶってくることになる。基本は安全第一ではあるが、北陸電力には、原子力規制委員会を説き伏せるくらいの気持ちで取り組んでほしい。

（電力） 陸域は 6 本を選定したので、次が最後の山場の審査となる。海域はボーリング調査で決定することとなるが、原子力規制委員会の審査に耐えうるデータを取得し、しっかりと説明していきたい。

（2）「志賀原子力発電所周辺環境放射線監視結果報告書（案）平成 30 年度第 4 報」  
「志賀原子力発電所温排水影響調査結果報告書（案）平成 30 年度第 3 報」  
について、事務局から説明があり、協議会として承認された。

（3）「志賀原子力発電所周辺環境放射線監視基本計画の改定」について、事務局から説明があり、協議会として承認された。

（4）「原子力発電所に対する保安検査結果等」について、志賀原子力規制事務所から説明があった。

（委員） 原発が止まってから 10 年くらいになるが、入社してから 1 度も原発が稼働しているのを見たことがない方が増えてくる。実際に原発が稼働したとき、安全に運転できるかという運転員の力量をどのように確保するのか。

（電力） 机上教育はもちろんであるが、シミュレーターによる訓練をしたり、実際に稼働している自社の火力発電所で現場を体験させたり、他社の原子力発電所の現場を体験することによって、若手を含めて総合的に力量をアップすることに努めている。

（5）平成31年3月18日に開催された協議会の議事概要について、事務局からホームページに公開している旨報告があった。